

各団体・地域の総決起で 宇都宮さんを必ず都政に



宇都宮けんじ候補 立候補届出済ませ、都庁前で第一声演説

本日、東京都知事選（7月5日投票）が告示され、14名（11時30分現在）が届出をおこない、選挙戦がスタートしました。

市民と野党の共闘の候補者として立候補した宇都宮けんじ候補は、東京都選挙管理委員会での立候補届のあと、都庁第1庁舎前で立候補第一声の演説をおこないました。宇都宮候補はすでに発表した政策をもとに、新型コロナウイルス対策や都立・公社病院の地方独立法人化問題、カジノ誘致問題など、この4年間の小池知事の都政運営を厳しく批判。また、安倍政治のもとで新自由主義、経済効率主義ばかりを追及する社会となっていることを指摘。いまこそ社会的連帯が求められていることを紹介し、「都民のくらしを第一に考える都政」を実現するために全力をあげることを訴えました。

〓都知事選スタート〓

市民と野党の共闘、宇都宮けんじ候補勝利にむけ総決起を

2020年6月18日 革新都政をつくる会事務局長 中山伸

本日、都知事選が告示されました。宇都宮けんじ候補は、都庁前で第一声をおこない、「今回の都知事選は生存権がたまたかいであり、都民のいのち、くらし第一の都政に転換する」と力強く決意表明しました。

宇都宮さんは、貧困と格差の問題でも、教育やくらしの問題でも都民が主人公の都政に変えようと全力で奮闘してきました。こうしたたたかいは通じて、宇都宮候補が誰よりも都民の代表にふさわしい人だとの確信が大きく広がっています。一方、小池百子知事は、「築地を守る」「五輪関連予算の適正化」「都政の透明化」という都民との約束を投げ捨て、切実な都民要求にも背を向けてきました。筋を通し、約束を守りぬく宇都宮さんこそ、切実な都民の願いを託すことができます。

今回の選挙は、東京での「市民と野党の共闘」が大きく発展するなかでのたたかいです。市民と野党の共闘で宇都宮けんじさんを知事に押し上げようではありませんか。全都すみずみ、草の根から共闘を広げ、総力をあげてたたかいますか。超短期決戦です。全都25地域の合同選対を軸に共闘体制をさらに強め、宣伝・対話に総決起しましょう。

告示日の街頭演説

宇都宮けんじ候補と野党党首による街頭演説

本日 17:00～、新橋

LIVE 中継は <http://utsunomiyakenji.com> で視聴を

都民の目で見えた小池都政黒書



都民不在の小池都政4年を徹底分析。右手に都政パンフ、左手に黒書をもって訴えましょう

頒価：1000円